

2016 年度 各専門委員会開催！

2016 年度運動方針の実現のために活動している各専門委員会の取り組みについてご紹介します。

産業政策委員会

●産業政策委員長 田倉正司

2016 年度の産業政策委員会は、運動方針補強を実現するための活動を展開していくが、4 本柱のうち 3 つの柱に亘って責任箇所が明確化されており、取り組み内容も広範囲にわたっています。とりわけ、全ての構成組織において「高齢者雇用安定法の制度導入」や「労働協約の締結」に向けた取り組みをはじめ、女性活躍推進ならびに男女を問わず働き続けられる環境づくりに向けた「働き方改革」の指針等の作成を目指します。また、2013 年に改訂した「印刷労連産業政策」も 3 年が経過し、この間、印刷産業や我々を取り巻く環境などが変化している中で、更なる改訂も必要となっており「産業政策 (改訂版)」の作成に向けて委員が一丸となって取り組んでいきます。各地方協議会ならびに構成組織にはご協力とご支援をお願いいたします。



労働条件委員会

●労働条件委員長 山野内孝満

労働条件委員会では、印刷労連加盟の構成組織全体の賃金水準、労働条件の向上を最大のテーマとして活動をしています。特に、春闘、年末・夏季一時金交渉時期においては、それぞれの方針案を策定し、三役会、中央執行委員会、中央委員会で議論をし、決定していただけるよう取りまとめを行なっています。

2016 春闘においては、印刷労連全体で 3 年連続での賃上げが実現できました。しかしながら、個々の構成組織においては厳しい賃上げ状況におかれている組織もまだまだあります。これを課題と捉え、執行部と連携してそれぞれの組織への支援ができるよう引き続き努めていきます。

9 月、10 月には労働条件調査を地協を通じて、各構成組織にお願いをし回答を頂いております。多忙な業務の合間を割いてご回答頂き、大変感謝申し上げます。頂いた調査を集計し、経年での比較や他産業との水準比較を行ない、印刷労連の目指すべき賃金・労働条件の議論をし、春闘や一時金の方針策定につなげていきます。引き続き、ご協力のほど宜しくお願い致します。



組織委員会

●組織委員長 藤野明尚

組織委員会は、印刷労連の綱領を達成するべく「組織強化」と「組織拡大」を大きな柱に取り組みを進めております。

組織強化では、①本部および地方協議会の体制ならびに女性役員の発掘を含めた役員の選出、②構成組織における労働協約の締結をはじめとする中小企業の労使関係への対応などを課題と捉えております。

組織拡大においては、①増加傾向が続いている非正規労働者の組織化、② 60 歳超の再雇用者の組織化、③企業内未組織労働者の組織化、④関連企業の未組織労働者の組織化が課題となっております。

今年度は、運動方針補強において組織委員会の優先課題は、関連企業の未組織労働者ならびに非正規労働者の組織化に絞られております。難題であると共に委員会の開催回数も限られておりますが、議論と行動のベストミックスを図りながら、印刷労連および印刷情報メディア産業の発展と、そこで働く者の労働条件の向上を目指し、活動を展開しております。



教育・広報委員会

●教育・広報委員長 土口 裕

教育・広報委員会は、人材の育成と労働運動の継承や情報の共有化、提供に取り組んでいきます。具体的には①各種教育の実施とフォローアップ、②地方協議会に主眼を置いた「労使運営マニュアル」を用いた教育を実施、③人材育成と労働運動継承のための教育活動の実施、④「NETWORK」とホームページを通じての情報提供などに引き続き努めていきます。

教育面では、昨年度に実施できていなかった「労使運営マニュアル」を用いた教育に取り組んでおります。また、昨年引き続き、中央執行委員および中央委員を中心とした教育や、ブロック会議ならびに地協幹事会などでの研修会を実施していきます。さらに、構成組織が利用できるよう、印刷労連としての教育体系、プログラムを検討しております。

情報提供については、NETWORKやホームページを媒体として情報の共有化に努め、NETWORKの定期的発行とホームページを閲覧した組合員へ有益な情報を提供できるよう取り組みを進めていきます。

印刷労連本部・各地協の活動が身近に感じられる、また、活動に対して理解が深まり、顔の見える活動となるよう取り組んでいきたいと考えております。



総務・財政委員会

●総務・財政委員長 宍戸良太

総務・財政委員会は、「組織の更なる発展と福祉の充実」に向けて、①労金および全労済運動の推進、②時代の変化に見合った規約の見直し、③本部および地方協議会における適正な財政運営、を軸にその具現化に向けて活動していきます。

2016年度は特に印刷労連本部としての労済推進、次回大会確認に向けた規約改定、に集中して取り組むと同時に、産業政策委員会で取り組んでいた「福祉政策」全般について委嘱を受け総務・財政委員会として検討を開始していきます。

各地方協議会ならびに構成組織との連携も含めて活動して参りますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



第5回 UNI Apro 東アジア労組フォーラム (2016.10.26～27) 韓国・ソウル 報告

印刷労連本部 中央書記長 宍戸良太

2016年10月26日(水)～27日(木)、韓国・ソウルの Kwanghawmoon 郵便局国際会議場に於いて「第5回 UNI Apro 東アジア労組フォーラム」が開催され、山野内副委員長とともに印刷労連からは2名が出席した。当初は韓国・慶州での開催予定であったが、9月12日に発生した慶州での地震に伴い、参加者の安全確保の観点からUNI韓国加盟協が開催地をソウルに変更しての開催となった。

「UNI Apro 東アジア労組フォーラム」は、香港・韓国・台湾・日本のUNIに集うサービス産業の労働組合が、東アジア地域の様々な課題を打開するための意見交換や議論を通じ、連帯・友情・相互理解を更に深め、協力の枠組みを確立することを目的に、第1回フォーラムを2012年東京で開催し、第2回を2013年ソウル、第3回を2014年台北、第4回を2015年京都で開催し、今年再びソウルに戻ってきた形になる。このフォーラムの継続的な開催によりUNI Apro 東アジア地域の結束は確実に強まっているといえる。本フォーラムには、韓国・台湾・日本の3カ国から20組織175名が参加。日本組織であるUNI-LCJapanからは11組織47名が参加した。今回のメインテーマは「低金利、低成長、デフレ時代における雇用政策と労働」で、このテーマの下に3つのサブテーマ①「労働時間の短縮とディーセントなジョブ・シェアリング」②「最低賃金/ベーシックインカム」③「仕事の未来：青年、女性、高齢労働者」について議論した。その中で印刷労連からは「労働時間の短縮とディーセントなジョブ・シェアリング」のサブテーマについて『ワークライフバランスの実現に向けて～仕事と育児の両立に向けた事例紹介』と題して宍戸よりトピック報告を行い、各構成組織からもサブテーマに沿ったトピック報告がされ、各国間で情報の共有と取り組みへの共感を得ることができた。そして、各国で働く仲間の課題は多くの共通部分があり、特に雇用については「包括的で持続可能な成長を目指す戦略こそ、より良いディーセントな雇用を創出し、生活水準を改善し、多様なすべての働く者が成長の恩恵を享受できる経済機会を拡大する」と結論付けがなされた。日本と共有する課題でもあり、各国で早急なる解決策を見出すことができるかが鍵になると感じた。UNIを通じ同じ認識を持った働く仲間が世界にも多く存在することや、それぞれの国が抱える課題についても共有することができ、私たちの今後の労働運動にも非常に参考になったことがありました。このような機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。(宍戸)

宍戸書記長の報告の通り、UNI Apro 東アジア労組フォーラムへ出席させていただきました。韓国、台湾、日本の東アジアの労働組合の代表者が集まり、それぞれの課題を共有し、各国、各組織へ持ち帰る重要な機会でした。アジアの多くの国々はこれからも経済成長が期待され、近い将来アジアの時代を迎えると言われております。働く人々の課題は非常に近いものがあり、そのような中、「日本で労働組合の活動を行う私たちがどうアジアの国々と連携していけるのか？」そんな事を考える貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。(山野内)



トピック報告をする宍戸書記長



印刷労連から参加の2名



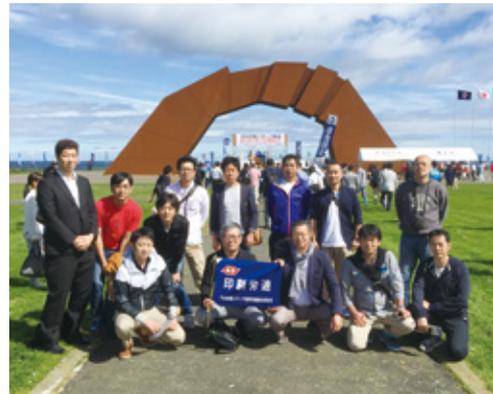
UNI-LCJapanからの参加者



全参加者での集合写真

2016 連合平和行動報告 in 根室

～次世代の継承について皆で考えよう～



印刷労連本部 中央書記長 穴戸良太

連合2016平和行動 in 根室、2016平和ノサップ集会在9月10から12日、根室・納沙布岬で開催されました。沖縄・広島・長崎に続く連合2016平和四行動の最後を締めくくる本行動に、印刷労連各構成組織から13名が参加しました。今年の北海道は、これまでに経験のないほど立て続けに台風が来襲し大雨の被害をもたらし、平和行動直前にも台風の影響が心配されましたが、9月10日から12日の3日間は天候に恵まれての平和行動となりました。初日の「北方四島学習会」では元島民、元島民二世、北方四島返還の想いを次世代に継承していく活動をしている札幌の現役高校生の訴えから、北方四島の返還を決して諦めることなく返還運動を継承していく事の重要性を共有しました。

「平和ノサップ集会」では北方領土返還運動・原点の地である根室市の納沙布岬に集結し、学習会・集会で得た事、感じた事を参加した私達一人ひとりが、単組・支部・職場、さらには家庭に持ち帰り、共有し、継承していく事を共に誓い合いました。私は今から16年前の2000年9月に初めて「北方領土返還要求納沙布集会」に参加しました。

この16年間も運動は継承され続けておりますが未だ返還には至っていません。しかしこの間、様々な進展も見られ、学習会でのお話しにあった「返還」と「ロシアとの共生」の両軸から解決策を見出していき、時が経ってしまった過程での変化も含めて次代に正確な情報を伝えていく事が、根室平和行動の「いま」大切なことだと考えます。この課題は、政府と国民が一体となってこの運動を継承・展開していく事の重要さも痛感致しました。これからは「労働運動」でできることをみなさんと共に取り組んで参ります。

凸版印刷労働組合 亘理比呂樹

「故郷に自由に行きたい」との島民だった方の言葉に感銘を受けました。領土問題の解決は無理だろうと考えていましたが、「故郷に自由に行ける環境を整える活動」と考えると、この難しい問題が身近な事となりました。

凸版印刷労働組合 込山大介

元住民の切実な想いや気持ちの変化に感銘を受けるとともに返還に向けて次世代への継承の必要性も感じ、国を挙げての取り組みの強化が重要だと感じました。ただ、実際に返還となった時にどれだけの方が島に戻るのか、新たに移住するののかという疑問も少なからず残ります。

凸版印刷労働組合 大谷嘉敬

元島民の本田さんのお話、ロシアと仲良くやっていきたいという言葉があった。返還とただ声をあげるのではなく、日本とロシア双方の声をしっかりと聞き、正しく伝えていくことが我々が継続していくべき行動であると感じた。

凸版印刷労働組合 小野寺和郎

今回の平和行動で3つの「続けていく平和」を見つけました。

1つ目は戦争がない平和、2つ目は手つかずの自然を守っていく平和、3つ目は北方領土を返還だけではなく、共生しながら暮らしていく平和この3つを伝えていきたいです。

共同印刷労働組合 田河毅宣

連合として、印刷労連として、今この問題に対しどんな支援ができるのか。今後も“私事”としてこの問題に向き合っていきたいと思えます。平和行動に参加できたことを感謝したいと思います。

フォームズユニオン 笹田昭博

北方領土問題については、戦争が終わったにも関わらず、ロシアが巻き起こした悲惨な出来事の話を知ると、如何に平和が幸せなことだと感じました。北方4島が、日本の領土として全て返還されることを切に願うと共に北方領土問題の正しい記述を家族や仲間伝えて行ければと思います。

フォームズユニオン西日本 眞村和也

この平和な現代においても北海道にまだ戦争で苦しんでいる方が沢山いるということを知った。終戦のあとに平和な島々を武器を持ったソ連兵が家や金品を奪い島を占領し、そこに住んでいた島民は追い出され、ふるさとを奪われてしまった。こんな理不尽な事は許されることではないと、強く感じた。しかし、元島民はロシア人と共存できる社会を願っている。両国共、話し合いで早急に決着して欲しい。

図書印刷労働組合 佐藤慎治

活動で感じたことは、返還だけが答えではなく、国を超えて文化や人や医療の交流がされていることがすでに答えではないか、ということでした。いつかレノンの歌のような国境のない世界が来ることを願うばかりです。

図書印刷労働組合 小保利浩

集会では「北方領土を返せ」と荒々しくシュプレヒコールを行う事を想像していましたが、現地の方々はホームステイや文化交流で友好関係を築いている。対話継続の重要性を知り、改めて問題の難しさも知りました。

リーブルテック労働組合 和田嘉人

今回、元島民等の方々の体験談を聞く事が出来、非常に貴重な体験をする事が出来ました。難しい問題ですが、世代を超えて、引き継いでいくべき問題だと思いました。

高桑美術印刷労働組合 藤井雅之

元島民が恨み辛みを持ちながら、平和的解決を願う「あれはあれ」「これはこれ」と心境を変化させ、相互理解を深めようとしている。我々もこの問題に対する正しい認識・理解を深め、運動を継承していかなければならない。

古林紙工労働組合 湯口真広

元島民の鈴木咲子さんから、故郷に帰れないことの辛さ、島で暮らすロシア人に対する複雑な気持ちについてお話を伺い、何十年もの間苦しみを抱えて生きてきたのかと同じ日本人として悲しい気持ちとなりました。

構成組織 ご紹介!

北から南から



共生印刷労働組合 (執行委員長：墨 和芳)

愛知地協の共生印刷労組です。当労組はオープンショップ制で営業関係が加入しておらず活動が賃上げ・一時金中心で中々イベント的なものはありません。来年組合結成 50 周年を迎えるので頑張っていきます。会社は名古屋の都心にあり昭和 21 年創業で 70 周年を迎え、仕事は商業印刷一般で学参物が中心です。

ここで役員の趣味を紹介します。委員長は鮎釣り、副委員長は自転車、書記長は野球、青年委員長はよさこい踊りです。これらに興味がある方は次回お会いした時に話しかけてください。あと、名古屋名物では意見が分かれ、若鯨家のカレーうどん、COCO 壱番屋のカレー、ヨコイのあんかけスパ、青柳ういろうの宣伝「♪白・黒・抹茶・あずき・コーヒー・ゆず・桜 あおやぎういろう〜♪」と言う歌は名古屋人ならみんな歌えます(笑)と、それぞれ好き勝手を言ってます。

もうひとつ、来年の 4 月には国内最大規模のレゴランド名古屋リゾートが名古屋港にオープンします。東の東京ディズニーランド、西のユニバーサルスタジオジャパンに並び日本三大パークの一つになるかもしれない。



サンニチ印刷労働組合 (委員長：井上 知洋)

まずは私たちの会社について紹介します。(株)サンニチ印刷は、山梨日日新聞社、山梨放送などの YBS グループに属しており、主に商業印刷を行っています。甲府に本社があり、新宿に東京支社があります。従業員数は 200 名ほどで、商業印刷を主に行っていますが、最近では、VR やサイングラフィックスなども手がけています。

サンニチ印刷労働組合は、一時は活動停止などもありましたが、今年で 56 年目になります。現在の組合員数は、90 名程です。過去の組合はレクリエーションに重点をおいた活動を行っていましたが、去年連合に加入したのを機に、会社との交渉や、組合員の生活の向上などに重点をシフトしました。最近では、連合主催のセミナーへの参加、メーデーなど、今までとは違った活動を、戸惑いながらも前向きに活動しています。現在は、下期一時金要求の真っ最中です。

山梨県といえば、ほうとう、桃、ぶどう、ワイン、富士山などが有名です。その富士山ですが、山梨県の富士山は裏富士といって富士山の裏側です。でも静岡側のように穴が開いていないし、左右がシンメトリーになっているので、静岡から見るより何倍もきれいです(静岡の方、反対意見は受け付けます)。そんな富士山ですが、甲府からは頭の部分しか見えません。お勧めは本栖湖から見た富士山、ダイナミックで大変見応えがあります。ぜひ、山梨に来た際にはご覧になって下さい。海無し県ですが、山梨県の特産品にあわびの煮貝があるのをご存知でしょうか。海無し県なのになぜ煮貝? 実は海無し県だから煮貝なのです。駿河湾から山梨県まで、生のままあわびを持ってこれなかったから、煮貝にして持ってきたというわけです。煮貝はお高いですが、リーズナブルなお土産として最近では、信玄餅も有名になりました。実はこの信玄餅、2 種類あるのをご存知でしょうか。TV などに良く出てくる信玄餅は桔梗信玄餅といって、桔梗屋さんから販売しているものです。もうひとつは金精軒というお店から出ている信玄餅です。外見はほぼ同じですが、味はだいぶ違いますので、食べ比べてみるのも面白いと思います。



アジア連帯委員会 (CSA) 33 次救援衣類を送る運動

印刷労連は今年度も社会貢献活動の一環として取り組んでいる、救援衣類を送る運動を今年 9 月 20 日～9 月 26 日の募集期間を設けて取り組んでまいりました。

今年度は、フォームズユニオン、フォームズユニオン関西、フォームズユニオン西日本、リーブルテック労働組合、コクヨ労働組合、高桑美術印刷労働組合、オルタス労働組合よりご協力いただき、今年は昨年を上回る 19 箱になりました。ご提供いただきました各構成組織の組合員の皆さまに感謝を申し上げます。

また、海外輸送募金として 70,000 円を連帯基金から拠出いたしました。

皆さまのご協力、大変ありがとうございました。



編集後記

年末に向けて忘年会のシーズンです。いったい忘年会の目的って何? と考えてしまつことが度々です。そこでおすすめなのが感謝の会話です。「今年もありがとうございました」にもうひとつ、「どう、ありがとうございましたのか」を具体的に伝えてみてください。「残業を何度も手伝ってくれて本当にありがたかったです」「何でも聞いてと言ってくれたさつたひと言、忘れられませぬ」上司、後輩といった立場の上下に関係なく、伝えるタイミングも、隣に座ったとき、鍋をつつきながらと気負わずにいつでもいいのです。言われれば誰だって気持ちが温かくなり、そこから会話も自然に弾むはず。こうした小さな感謝の積み重ねこそが、気持ち良い人間関係をつくってくれますよ。

教育・広報委員会

石山 浩司

連合  印刷労連
労働相談ダイヤル
03-5442-0191



左記 QR コードから、是非、印刷労連の HP もご覧ください。
ID : pimw (半角英数)
PASS : 1989 (半角英数)